

平成29年度ニート・ひきこもり親セミナー(平成 29 年月 8 日(土)開催)報告

本年も、ひきこもりの支援・治療の第一人者斎藤環医学博士をお招きして、「移りゆく現代 ひきこもりを考える これから家族でできること」というテーマで、精神医療の現場、最近の傾向、具体的な事例を基に親の子に対する対応へのアドバイスや支える家族の心構えを1時間半に亘り講演頂きました。今、普通に生活している誰もが、様々な出来事や環境次第で、誰もがひきこもってしまう可能性などあること、正論で本人をおいつめないこと、大切なのは対話であること、問題を探してそれに焦点を当てるのではなく、健康な部分をエンパワメントすること、一朝一夕にはいかないが、如何に本人と良好な関係をつくることであること、それをあきらめないことが意味をもつこと、他にもいろいろ具体的で示唆に富んだお話がありました。また、今回は、質問回答の時間を多めに設け、申込時に参加者から受けた質問を事前に斎藤先生にお伝えするとともに、相談票を配布し、それをひとつひとつお答えいただきました。当事者であるご家族はもとより、支援者にもとても学ぶことの多い講演を頂きました。また、講演終了後は、今年もかしわサポステのスタッフや若者に協力頂くとともにまつどサポステからも若者が参加してくれました。講演後の座談会やサポステブースには親御さんが参加し、熱心にお話をしたり、若者の話に耳を傾けていました。また、個別相談については、申込み時ではキャンセル待ちの方もいましたが、最終的には希望されていた家族にすべて対応することができました。相談員18名による29組の家族への相談会となり、当日の出席者は引きこもりの問題で悩む親当事者を中心に支援関係者含めて87家族109名、弊NPO相談員含むスタッフ36名、若者ボランティア8名他を合わせ総勢154名で盛況な開催ができました。多くの方のご協力でこのようなイベントができたことに感謝いたします。

